



福山大学

FUKUYAMA UNIVERSITY

学 報

2017.3.20 Vol. **151**

三蔵五訓

真理を探究し、道理を実践する。
豊かな品性を養い、不屈の魂を育てる。
生命を尊重し、自然を畏敬する。
個性を伸展し、紐帯性を培う。
未来を志向し、可能性に挑む。



祝 卒業

平成28年度	学位記授与式	学長式辞		1
平成28年度	学位記授与式	理事長挨拶		2
平成28年度	学位記授与式	在学生送辞		3
平成28年度	学位記授与式	卒業生答辞		3
平成28年度	学生表彰(卒業生・修了生)			3

卒業おめでとうございます！



福山大学イメージキャラクター
「ふくりん」

激しく変化する社会に、 自信と希望を持って入る！



平成28年度 学位記授与式 学長式辞

学長 松田 文子

皆さん、ご卒業おめでとうございます。在学中にはたくさんのことを学び、経験し、多くの人間関係を築かれたことと思います。それらを糧として、社会に出た皆さんが大きく花開かれることを、ここから期待しています。そして、ご臨席いただいておりますご家族の皆様、本日は誠にありがとうございます。ご家族の皆様の長きにわたる物心両面でのご支援に、教職員一同、ここから感謝申し上げるとともに、こうして若さと知力にあふれる若者684人を新たに世に送り出すことができることを、ここから喜び、誇りに思います。

卒業生の皆さんは、4年間あるいは6年間勉学を続け、本日卒業式を迎えることができたわけですが、それを誇りに思うと同時に、今日までの皆さんの勉学や生活を支えてくださった家族や仲間、そして社会の人々に感謝の気持ちを忘れないようにしましょう。これからは皆さんが社会に出て、支える側に回ります。1975年に開学した福山大学は、皆さんを含めてこれまでに約34,000人の卒業生を送り出してきました。その中からは、すでに備後地域を中心に全国の様々な地域で、リーダーや中核となって社会を担う人材が輩出しており、そこに皆さんも仲間入りすることになるのです。卒業生は本学の宝であると同時に、社会は皆さんに大きな大きな期待を寄せています。

皆さんへの入学式告辞で、私はこのように述べています。「皆さんは一人ひとり、夢を持ってこの大学に入学されたことと思います。夢はいつか覚めます。覚めないようにするには、夢を具体的な目標にする必要があります。そして、目標達成のための手段を考え、計画を立て、試行錯誤を重ねながら実行していく必要があります。大学での学びを丸ごと、この目標実現のためのアクティブ・ラーニングにしましょう」と。皆さん、いかがですか。きっと夢は、そのままの形では実現されていないでしょう。でも、入学時には思いもよらなかった多くの人との出会いがあり、そしてそれらに支えられながら、同時にあなたも他の人を支えながら、多くのことを成し遂げできたことと思います。そうして得たものを糧として、皆さんは今まさに、有為で貴重な社会の担い手として社会に出て行くのです。

しかし、その社会は現在、なかなか難しい問題をたくさん抱えています。皆さんが大学で学んでいる間にも、様々な天災と人災が、我が国だけでも多くの人の命や平穏な生活を奪ってしまいました。また、世界を見れば、科学技術の進歩を主として担い、かつその恩恵も最大限に受け続けてきた欧米域内の秩序が崩れようとしています。さらに、欧米キリスト教

世界中心の秩序への反乱とも言うべき、暴力と混沌に翻弄されており、グローバル化時代といいながら異文化への寛容性が醸成されるよりも、むしろ失われる方向に世界は動いているようにも見えます。加えて、コンピュータリゼーションの進歩は多方面でますます加速し、生活の隅々まで浸透して便利でスピーディーな社会を実現する一方で、コンピュータウイルスやサイバーテロといった、新たなそして強大な脅威が人工的にもたらされてもいます。

皆さんがこれから支えていく社会は、このようになかなか先の見通しのつきにくいものであり、また困難の予想されるものではありませんが、それだけに皆さんが大学時代に学んで身につけた知識、技能、態度、あわせて人間力への期待も大きいのです。

福山大学の建学の精神は、「地域社会に広く開かれた大学として、学問のみに偏重するのではなく、真理を愛し、道理を実践する知行合一の教育によって、人間性を尊重し、調和的な人格陶冶を目指す全人教育」です。その理念に沿って、皆さんは在学中に専門的な知識や技能はもちろん、情報リテラシーや語学力のような現代的教養も身につけました。また、自己管理力、企画力、コミュニケーション力、プレゼンテーション力、リーダーシップ、問題解決力といった汎用性のある力も身につけました。さらに、責任感、粘り強さ、倫理観というような態度も身につけたことと思います。特に、最後の態度については、基礎的な力あるいは汎用性のある力を社会に生かすときに、人間力として今後ますます重要になるでしょう。

ヒトは一人では弱い生物でしかありませんが、他者を思いやり、協力し、知恵を出し合う集団を形成することで、生物進化の頂点に立ってきました。あなたの周りのすべての人への誠実な思いやりを決して忘れないようにして、精神的に豊かな、そして公正で持続可能な社会を作っていく、たとえ小さくともその一翼を担うことが本学を卒業した皆さんに課せられた使命です。今、皆さんが大学教育の成果として手にしている自信と希望を心の軸として堅持して、それぞれの場所と部署で核となる人材となり、その地域を支え、そこから世界に発信し、ローカルにもグローバルにも活躍していただければ、と心から期待しています。

では、皆さんのこれからのご活躍を願って、もう一度「ご卒業おめでとうございます」と述べ、式辞を終わりとします。

平成29年3月20日

地域社会の発展に貢献を



平成28年度 学位記授与式 理事長挨拶

学校法人 福山大学 理事長 清水 厚實

本日の記念すべき佳き日に平成28年度卒業生のための式典が盛大に挙行されることになり、心よりお祝い申し上げます。

卒業生の皆さん本当におめでとうございます。また、本日は多くのお父さん、お母さん等保証人の皆様にもこの目出たい卒業式典にご列席をいただき、ありがたく厚く御礼申し上げます。保証人の皆様が大切に大切に育てていただいたお子様が成人となり、こんなに立派な社会人としての姿で大学の卒業を迎えられ、喜びも一入のことと改めて心よりお祝い申し上げます。

学校法人福山大学の二つの大学は、憲法並びに教育基本法の基本精神となっている「全人教育」即ち、「人間の発達可能性を全体として調和的に実現していくことを目指す教育」に従い、一人ひとりの学生を大切に育てることを大学の基本理念とし、すべての学生に対する学修指導、生活指導、就職指導に心血を注ぎ、面倒見のよい大学、興味を持って学業に励むことができる大学として努力しているとともに「地域、社会で働く中核的人材の育成」をミッションとし、地域、社会に貢献する有為な人材の育成を教育の重要な目標に掲げ、努力してまいりました。

ご承知のように経団連等の経済団体は、企業等で働く人材としての責任感、協調性、判断力、創造性、リーダーとしての資質、バイタリティ、社会貢献への意欲などを強く求めています。

さらに、卒業生の皆様がこれから勤める予定の職種である営業系、企画・事務系、技術系（IT・通信、機械・電気、建築・土木、化学・食品）、店長（店舗管理）、金融系職種、学術・マーケティング関連、専門系職種（医療・看護等）、クリエイティブ系等55種別の「企業が求める人物像TOP3」（アマゾンの調査資料による）では、次の3つを求める人物像として選んでいます。

第一は「積極性」、第二は「柔軟性」、第三は「外向性」となっています。

これからは、まさに企業等で働く中核的人材として、その活躍が強く期待されるわけでありますので、当大学で培った学力と苦勞して取った各種資格を有効に活用し、立派な社会人として活躍されることを心から期待するものであります。

さて、当大学の現状であります、ご承知のように就職につきましては、ここ数年間ほぼ100%が就職するといった全国の大学就職率の平均を遙かに上回る高い実績を誇っています。これは偏に就職を希望している学生の努力が第一であります、それとともに大学の教職員並びに就職委員会等の大変な努力が実ったものと考えております。

当大学としては、入学した学生には学修に合わせ必ず必要な各種資格を取って卒業するよう厳しく指導しておりますが、その成果がこのような形で実ったものと心より喜んでいところであります。

一方、平成29年度の入学予定者につきましては、昨年を上廻っており、このような実績を挙げておりますのは、偏に当大学の先生方の研究力、指導力などの教育力が極めて高いこと、また、事務職員も就職、入学について、学生に対し本当に親身になって相談に応じ指導していることの成果だと考え、心より感謝しているところであります。

さて、世界の情勢を見ますとイギリスのEU離脱、アメリカのトランプ大統領の誕生など、まさに不確実な時代でこれからどうなるか懸念されるところであります。しかし、わが国では政府が今年度から進学や就職で地方に残る学生に対する奨学金の返済免除制度を拡充し、地域の企業やNPOと連携する地方大学の支援を強化する方針「まち・ひと・しごとの創生総合戦略」を進めるよう決定するなど、地方大学の育成に一層力を入れることになっていきますのでご安心願います。

卒業生の皆さん、大学で培った知識や経験を活用し、国家、社会のため有為な人材として活躍されますよう祈念し、ご卒業のお祝いの言葉といたします。

平成29年3月20日



平成28年度 学位記授与式 在学生送辞



在学生総代
工学部 機械システム工学科

明石 修

冬の厳しい寒さも和らぎ、ここ三蔵の丘にも暖かな春がやってまいりました。卒業生の皆様、本日はご卒業おめでとうございます。在学生一同、心よりお慶び申し上げます。

皆様は福山大学に入学されてから今日までの間、勉学やクラブ活動、資格取得、学外活動など、様々な分野で日々努力されてこられました。また、大学生活を過ごした中で先生方や仲間との様々な思い出を振り返り、今改めて胸を熱くしておられることと思います。

私たちが福山大学に入学して間もないころ、希望とともに新生活に不安もありました。新入生合宿オリエンテーションでは、1泊2日の日程で、先輩方に授業の選び方や高校生とは違う大学生活の楽しさなどについて、非常に丁寧にご助言いただきました。そのおかげで、私たちも大学生活にスムーズに馴染むことができました。私たちが在学生も先輩方にいただいた事を手本とし、後輩たちのために役立てるように常に心がけたいと思います。

この先、皆様が活躍される社会は、まさに激動の時代を迎えていると思います。アメリカでは大統領が代わり、新しい政策を次々と実行しようとしています。イギリスではEU離脱という世界情勢を揺るがす大きな出来事が起こっています。また、自然災害も毎年のように我々を襲い、熊本や鳥取で発生した大きな地震、さらには新潟での大火災など多大な被害が起こっています。

また、私の所属する工学部においては、構造物の強度や熱の問題などに関しても学修しており、もし地震や火災が起こった場合でも、被害を最小限に食い止めるような考え方に触れてきています。福山大学で学べることは、地域への貢献や発展につながることを肌で感じました。

このような厳しい社会や変化に富む環境において、皆様は福山大学で身につけられた幅広い知識、技能を十分に発揮され、将来の可能性に挑み、社会で活躍されることを心より祈念いたしております。

私たちが在学生は、卒業生の皆様が築かれ、繋いでこられた伝統と学風を継承し、三蔵五訓の理念を糧とし、福山大学の更なる発展と飛躍のために、より一層の努力を続けていきます。

最後になりましたが、皆様のご健康と進まれる前途に幸多からんことを心よりお祈りいたしまして送辞といたします。

平成29年3月20日

平成28年度 学位記授与式 卒業生答辞



卒業生総代
薬学部 薬学科

田口 奈保子

寒さの厳しかった冬も終わりを告げ、桜の花が咲き始める季節となりました。本日は、このような素晴らしい式を挙げていただき、卒業生一同を代表して厚く御礼申し上げます。ここに、卒業の日を迎えられましたことを大変嬉しく思います。

また、お忙しい中、理事長清水厚實先生、学長松田文子先生をはじめ、諸先生方並びにご来賓の皆様方、また保証人の皆様に多数ご臨席をいただき、心より御礼申し上げます。先ほどは、清水厚實先生並びに松田文子先生より訓示と激励のお言葉を賜り、在学生の方からは温かい励ましの言葉をいただきました。卒業生一同を代表して、厚く御礼申し上げます。

私は、6年前に薬学部に入學しました。希望と不安を胸に抱き、福山大学へ入学した日が、昨日のことのように思い出されます。私たちが入学した2011年は、3月11日に東日本大震災が発生し、多くの方が被災され、たくさんの方ボランティアの方が被災地で救助活動に尽力されている姿を拝見しました。そこで、私も人の助けになれる

ような薬剤師になりたいと決意を新たにしました。この6年間で得ることができたものは、専門的な知識や技能だけではありません。在学中に成人式を迎え、年齢では大人の仲間入りをし、様々な人との出会いの中で自分がどれほど恵まれた環境にいるのかを実感しました。薬学部で学びたいというわがままを許し、見守ってくれたのは両親でした。また、私たちを厳しくも優しく指導してくださったのは先生方でした。そして、薬剤師国家試験の合格に向けて切磋琢磨し、支えあったのは友人でした。その友人たちとともに勉学に励み、よく遊んだ時間はとても有意義なものでした。その中で得たことは計り知れず、私たちの今後の人生における貴重な財産です。私たちの大学生活は友人抜きには考えられず、今後も喜びや苦しみを共有し、支え合っている関係が続くことを強く願っています。

今日、この日をもって私たちはそれぞれの新たな目標を達成するべく、これまでに足を踏み入れたことのない世界に挑戦します。私たちの前途は決して容易なものではないでしょう。乗り越えるには高すぎる壁が待ち受けているかもしれません。そのような時は、福山大学で得た知識や経験を生かし、諦めることなく立ち向かって試験を乗り越えていきたいと思っています。

最後になりましたが、お世話になりました諸先生方並びに職員の方々に改めて御礼申し上げます。また、皆様のご健康とご多幸を、さらには在学生のより一層のご活躍を、福山大学のさらなる発展を祈念し、答辞とさせていただきます。

平成29年3月20日

平成28年度 学生表彰(卒業生・修了生)

【学長賞】

部 門	学 部	学 科	学年	氏 名
ス ポ ーツ	経済学部	経済学科	4 年	前原 翼
ス ポ ーツ	経済学部	経済学科	4 年	越智 拓巳
国 際 交 流	人間文化学部	人間文化学科	4 年	大浦 翔太
文 化	工学部	情報工学科	4 年	川野 由香子

部 門	学 部	学 科	学年	氏 名
学 業	生命工学部	生物工学科	4 年	平島 宗一郎
学 業	薬学部	薬学科	6 年	志摩 亜季保
学 業	薬学部	薬学科	6 年	水谷 友莉香
学 業	薬学部	薬学科	6 年	横山 えみ

【奨励賞】

部 門	学 部	学 科	学年	氏 名
社 会 活 動	人間文化学部	心理学科	4 年	王 凱誠
学 業	人間文化学部	心理学科	4 年	陳 俐珊

部 門	研究科	専 攻	学年	氏 名
学 業	経済学研究科	経済学専攻	2 年	宋 晨陽
社 会 活 動	人間科学研究科	心理臨床学専攻	2 年	小林 隆昌

※受賞者については、平成29年3月20日(月)の学位記授与式(卒業式)において表彰を行いました。

編集後記

寒暖の激しかった冬もようやく終わりを迎え、福山大学の広いキャンパスでは小さな春をあちらこちらで見かけるようになりました。卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。大学生活はいかがでしたか？これから先、いろいろなことがあろうかと思いますが、大学生活のことが一番多く思い返されることでしょう。福山大学で学んだことを糧とし、社会でのご活躍を心より願っております。

発行 福山大学
編集 福山大学広報委員会

〒729-0292 広島県福山市学園町1番地三蔵
TEL (084) 936-2111 FAX (084) 936-2213

<http://www.fukuyama-u.ac.jp>